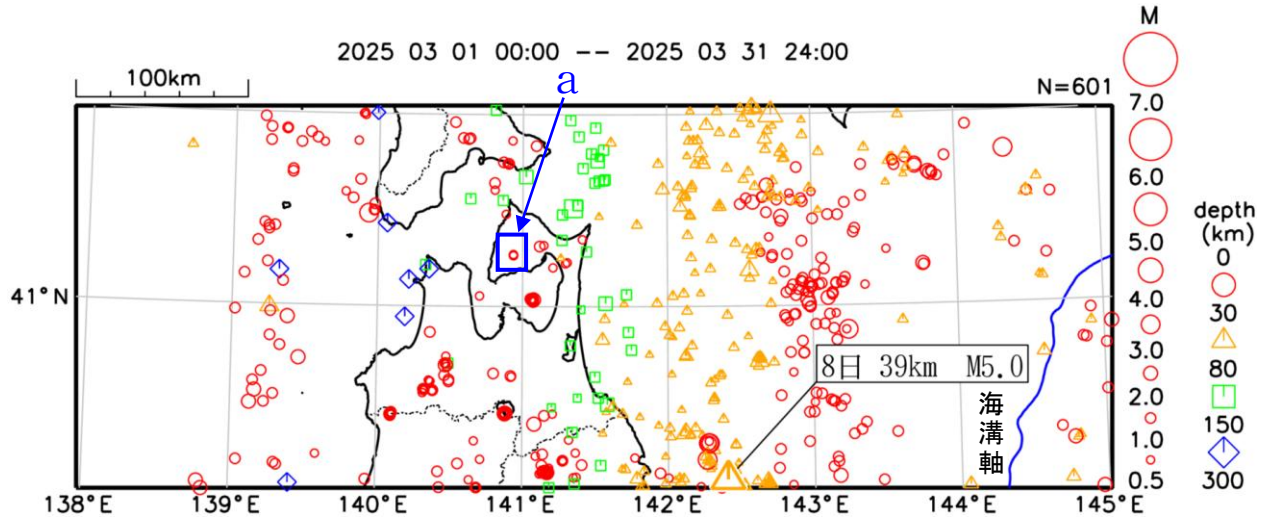


青森県月間地震概況

2025年3月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【3月の地震概況】

今期間、青森県内で震度1以上を観測した地震は7回（2月：15回）であった。このうち、青森県内で震度3以上を観測した地震は0回（2月：0回）であった。

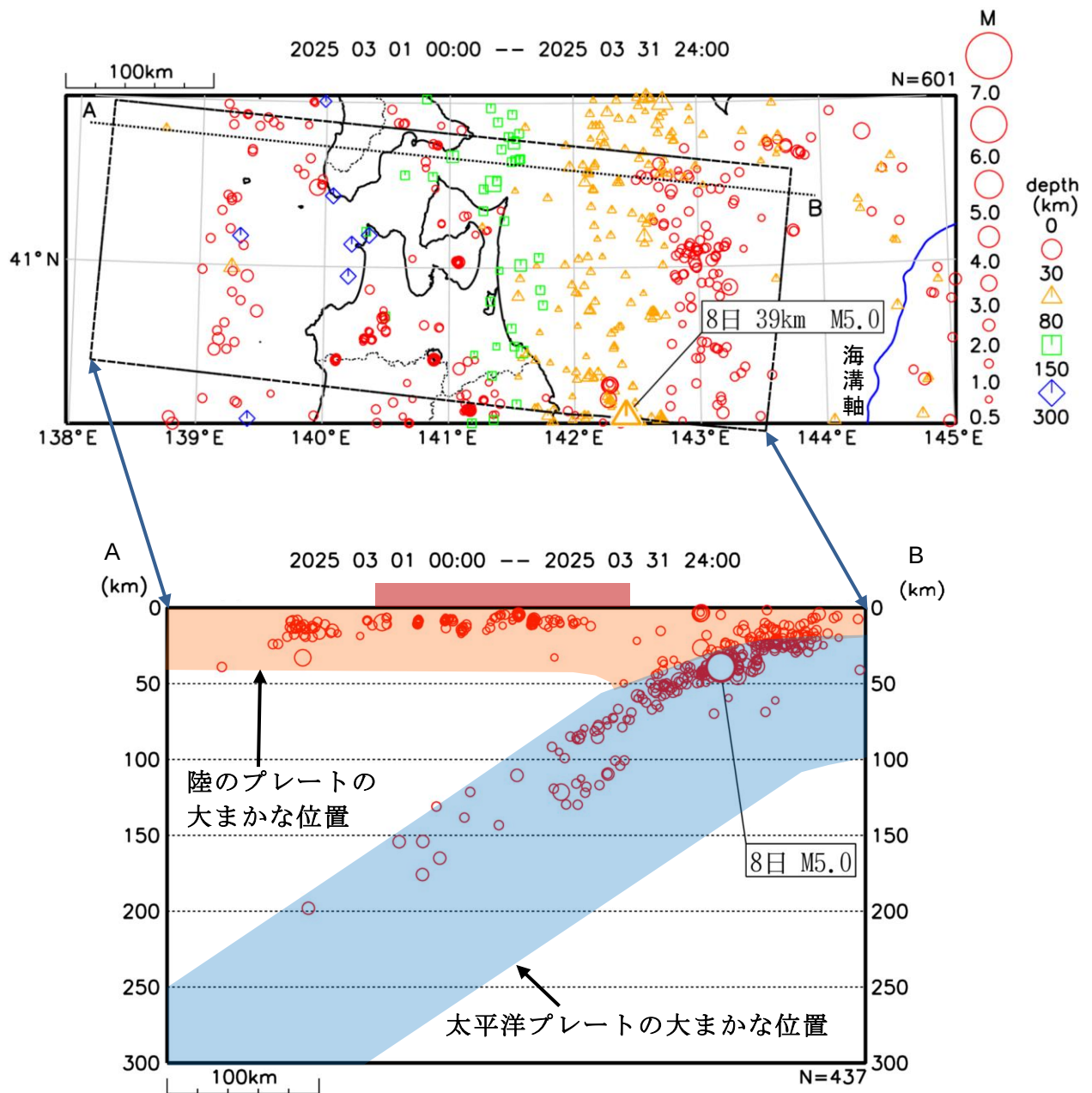
8日16時12分に岩手県沖の深さ39kmでM5.0の地震が発生し、青森県で震度2を観測するなど、北海道及び東北地方で震度2～1を観測した。県内では、八戸市、三沢市、野辺地町などで震度2を観測するなど、三八上北と下北、津軽北部で震度2～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震源付近では、M5を超える地震が時々発生しており、2017年9月27日にはM6.1の地震が発生し、八戸市と階上町で震度4を観測した。

青森県むつ市付近（図中aの領域）では、2月中旬以降、微小な地震活動がまとまって発生していたが、3月に入り活動は収まりつつある。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのことが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年 3 月 1 日～2025年 3 月31日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2025年03月01日13時29分	岩手県沖	40° 20.3' N	142° 07.2' E	48km	M3.6
青森県	震度 1	：八戸市湊町 八戸市内丸＊ 青森南部町苫米地＊ 階上町道仏＊			
2025年03月08日03時56分	青森県西方沖	40° 59.1' N	139° 15.4' E	33km	M3.3
青森県	震度 1	：深浦町深浦岡町			
2025年03月08日16時12分	岩手県沖	40° 05.8' N	142° 24.4' E	39km	M5.0
青森県	震度 2	：八戸市湊町 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 三沢市桜町＊ 野辺地町田狭沢＊ 七戸町森ノ上＊ 六戸町犬落瀬＊ 東北町上北南＊ 五戸町古舘 青森南部町苫米地＊ 階上町道仏＊ おいらせ町中下田＊			
	震度 1	：青森市花園 青森市中央＊ 平内町小湊 平内町東田沢＊ 外ヶ浜町蟹田＊ 八戸市島守 十和田市西二番町＊ 十和田市西十二番町＊ 十和田市奥瀬＊ 七戸町七戸＊ 横浜町林ノ脇＊ 横浜町寺下＊ 東北町塔ノ沢山＊ 六ヶ所村尾駁 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町＊ 五戸町倉石中市＊ 田子町田子＊ 青森南部町平＊ 新郷村戸来＊ おいらせ町上明堂＊ むつ市金曲 むつ市大畑町中島＊ むつ市川内町＊ むつ市脇野沢＊ 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糠＊ 東通村砂子又沢内＊			
2025年03月11日11時41分	十勝沖	42° 30.4' N	144° 03.2' E	71km	M4.4
青森県	震度 1	：八戸市南郷＊ 東通村砂子又沢内＊			
2025年03月15日22時50分	胆振地方中東部	42° 50.8' N	141° 56.2' E	141km	M4.2
青森県	震度 1	：むつ市大畑町中島＊			
2025年03月17日21時57分	岩手県沖	39° 46.2' N	142° 14.8' E	50km	M4.3
青森県	震度 2	：青森南部町苫米地＊			
	震度 1	：八戸市島守 八戸市湊町 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 三戸町在府小路町＊ 五戸町古舘 青森南部町平＊ 階上町道仏＊ おいらせ町中下田＊			
2025年03月30日22時55分	浦河沖	41° 59.6' N	142° 43.5' E	55km	M4.6
青森県	震度 1	：八戸市南郷＊ 野辺地町野辺地＊ 七戸町森ノ上＊ 階上町道仏＊ むつ市大畑町中島＊ 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内＊			

（注）地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。
各地の震度は青森県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

「青森県月間地震概況」利用の手引き

青森県月間地震概況をご覧頂きありがとうございます。新年度に入り、はじめてこの資料をご覧になる方もいるかと思うので、今月号は「青森県月間地震概況」の利用について説明します。

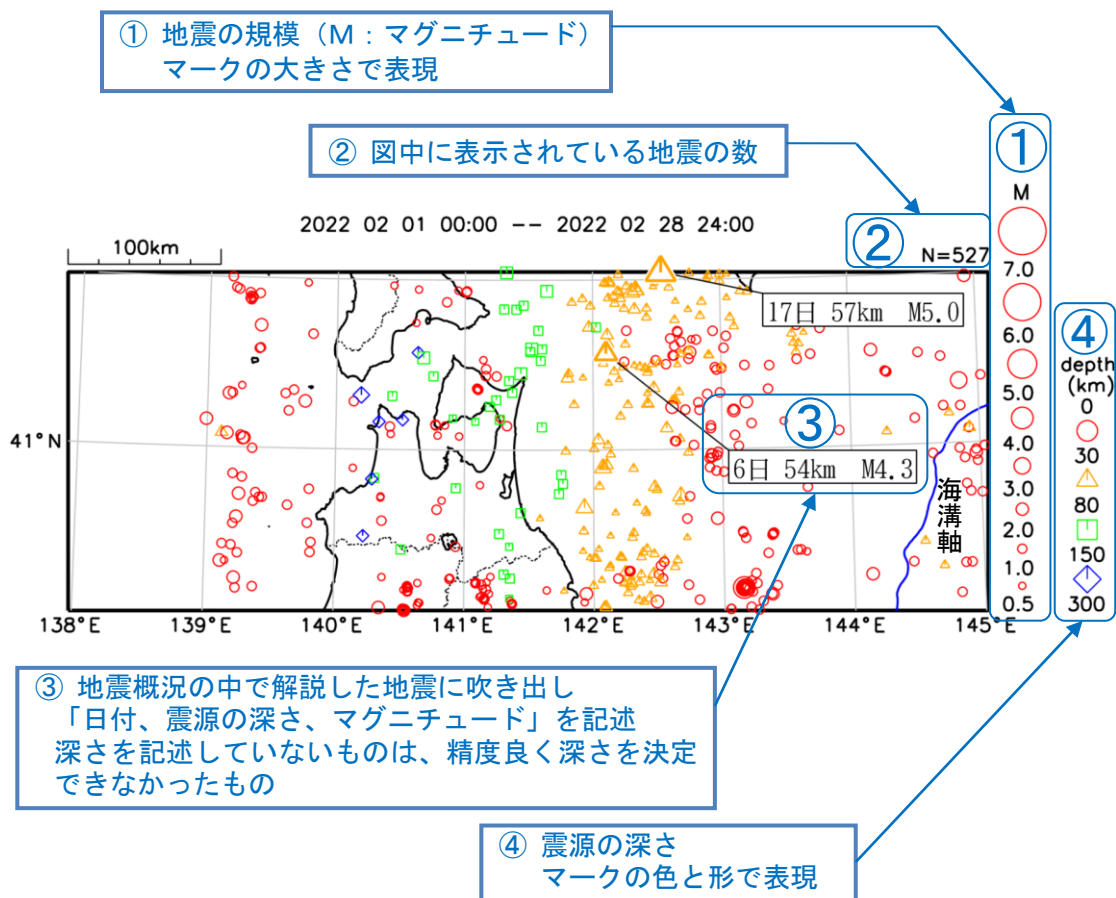
○ 青森県月間地震概況

1ヶ月間に青森県周辺で発生した地震について「震央分布図」、「地震概況」、「断面図」、「震度1以上を観測した地震の表」にまとめたものです。また「防災メモ」では、地震や津波、火山に関する知識や気象庁の業務について紹介しています。「青森県月間地震概況」は月1回発行し、青森地方気象台のホームページで公開しています。

1 震央分布図

震央分布図とは、震央の位置を地図上にマークで表示したもので、震央とは震源（地震が始まった場所）の真上に向かって地表に投影した点のことを指します。

マークの大きさによって「地震の規模（M：マグニチュード）」を、色と形によって「震源の深さ」を表現しています。太平洋沖の「海溝軸」と記載されている青い曲線は、日本海溝を表しています。この図から、どこでどのような規模の地震が発生したのか活動状況がわかります。



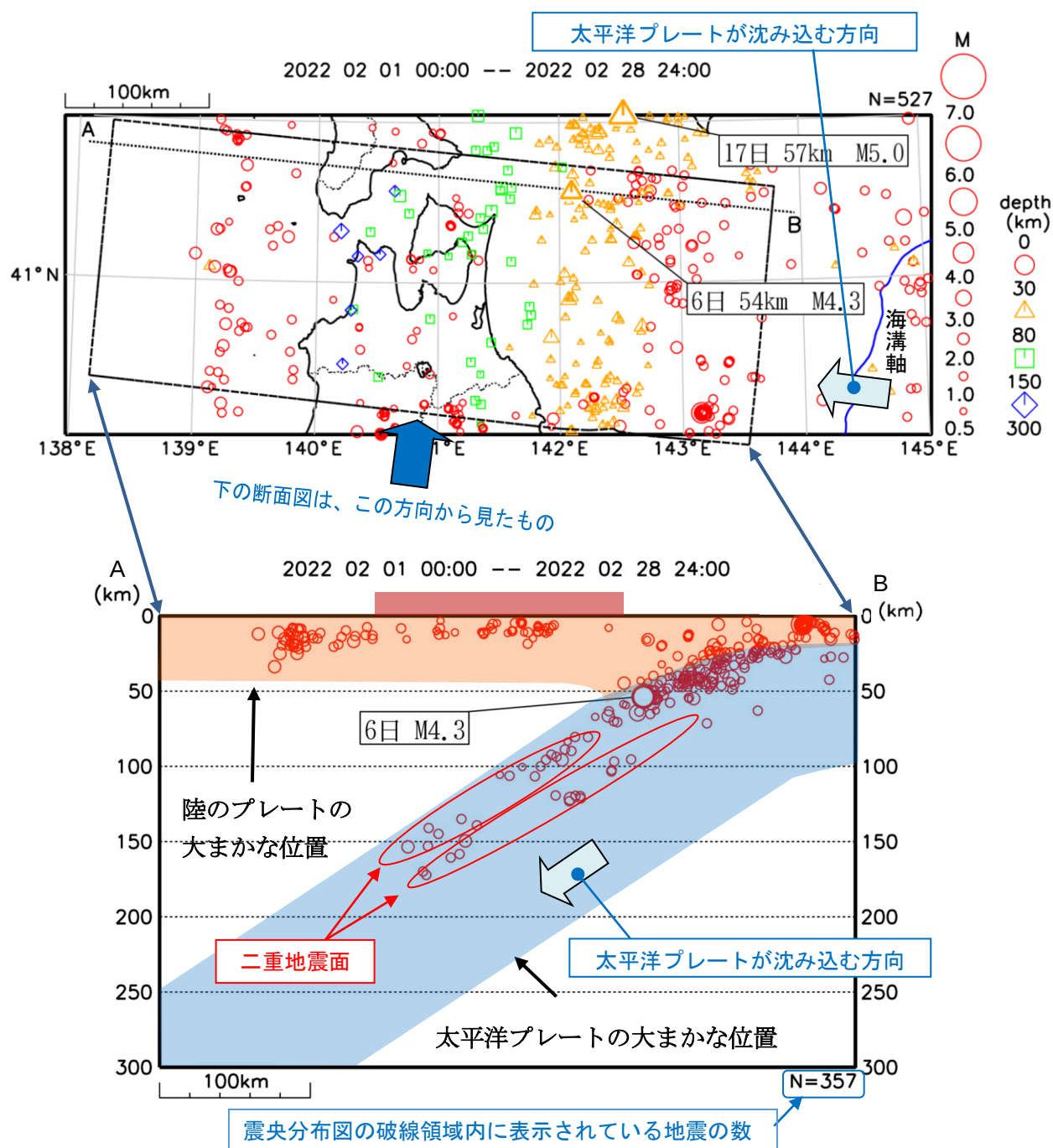
2 地震概況

その月に注目した地震について、震央地名、震源の深さ、マグニチュードや各地の震度等を記載し、地震の概略を解説します。また、精度良く震源を決定できたものについては、地震の発生場所（プレート境界、プレート内部、地殻内など）についても解説します。

3 断面図

震央分布図の破線領域内においてA点とB点を結ぶ線を断面として震源を投影し、地震の発生した深さの分布を表示したものが断面図です。投影面を単純に東西方向ではなく斜めにしているのは、太平洋プレートが陸のプレートの下に沈み込んでいく方向に沿うように設定しているためです。こうすることにより、太平洋プレートの沈み込みに沿って地震が発生している様子や、沈み込んでいく過程で震源が2層になっている様子（二重地震面と呼んでいます）が明瞭に表示される効果があります。

また、震央分布図と断面図を一対一で表示して、地震発生状況を把握しやすいようにしています。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※  は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から 200km 以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。

なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのことが多いと考えられる。

4 青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

青森県内の震度観測点 89 地点（気象庁 18、自治体 56、防災科学技術研究所 15）で、震度 1 以上を観測した地震の一覧表です。地震の発生時刻、震央地名、緯度・経度、震源の深さ、地震の規模および観測した震度と観測地点名を表記しています。

5 防災メモ

地震や津波、火山に関する知識や気象庁の地震火山業務等について解説や紹介をしています。

青森地方気象台ホームページ

<https://www.data.jma.go.jp/aomori/earthquake/commentary.html>

*：こちらに「青森県月間地震概況」の資料を掲載しています。